

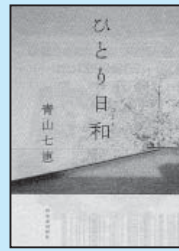
フレッシユなあなた (新社会人・新大学生) におすすめの本



「がばいばあちゃんの
勇気がわく50の言葉」
島田洋七／著



「大人になるための
社会科入門」
乙武洋匡／著



「ひとり日和」
青山七恵／著

死ぬまで夢をもて！その夢が叶わなくても、しょせん夢だから…。今の世の中にいちばん足りないものがたくさん詰まった、がばいばあちゃんの名言集。落ち込んだとき、人や自分に優しくなれないときにページをめくりたい1冊。
著者は1950年広島県生まれ。小学校・中学校を佐賀で過ごす。75年洋八と漫才コンビ「B&B」を組み、NHK漫才コンテストで最優秀新人賞を受賞。著書に「佐賀のがばいばあちゃん」などがある。

ボランティア、スポーツ文化、性同一障害、環境、ニート、愛国心、教育…。日常生活及び友人たちの話から、等身大の乙武洋匡が感じた「社会」を綴る。
著者は1976年東京都生まれ。大学在学中に「五体不満足」を出版。卒業後スポーツライターとして活躍。昨年4月より杉並区立杉並第四小学校教諭。著書に「だから、僕は学校へ行く！」などがある。

東京で暮らせるのであれば、なんだってよかったー。20歳の知寿が居候することになった遠い親戚の71歳の吟子さんの家。ふたりが暮らした春夏秋冬をとおして、ヒロインの自立をしなやかに描く。
著者は、1983年埼玉県生まれ。2005年「窓の灯」で文藝賞を受賞し、本作品で芥川賞を受賞する。

3月の催しもの

とき	催しもの
1日(土) 13:30～	朗読発表会
9日(日) 11:00～、14:00～	子どものビデオ劇場
23日(日) 10:15～、13:30～	春休み工作教室
29日(土) 11:00～	春休み子ども広場
毎週木曜日 10:00～12:30	あかちゃんクラブ ラッコルーム
毎週土曜日 14:00～	「おはなし」と 「あそび」の広場

❑不用図書の無料配布 3月20日から、無くなり次第終了。一人5冊まで。

❑春休み工作教室 3月23日(日)「伊勢型紙の豆色紙」と「伊勢型紙で染めるふきん」の製作
受付：現在、受付中 講師：青山幸子 先生
要材料費

❑展示会 「伊勢型紙仲間展」 3月8日～24日

その他の新社会人・新大学生向きの本

- ◆「生き方がみつかる青春の読書案内
～読んでおきたい心をゆさぶる日本の名著・名作100冊～」 小川義男／編著
- ◆「女ですもの」 内田春菊／著
- ◆「不都合な真実 ECO入門編
～地球温暖化の危機～」 アル・ゴア／著
- ◆「国際協力師になるために」 山本敏晴／著
- ◆「民主主義という不思議な仕組み」 佐々木毅／著
- ◆「すべては脳からはじまる」 茂木健一郎／著

俳句

「春雷」

ふそう俳句会

春雷に一人待たせて子を思う
梅白く輝き咲ける日和かな
花の下征きにし兄の皓齒かな

森 頰子
眞野しげる
森田 たか

川柳

扶桑川柳クラブ

さい銭に見合う程度の願い事
子育ての鳥は必死で敵を追
空元気ですよと舌がよくまわり

磯谷 芳子
飯田 秀水
丹羽 恵俊

短歌

「上弦の月」

ふそう短歌会

上弦の月のあざやか仰ぎみる
鋸刃の形の工場の屋根
指先に受けし微笑み静かなる
思惟の果てなる弥勒像あり
皺増して小さくなる手歳の数
掴めばこぼるる節分の豆

小木曾澄子
北村 久子
大藪美佐子

詩吟

「生田に宿す」 菅茶山

千歳恩讐両つながら存せず
風雲長えに為に忠魂を弔う
客窓一夜松籟を聴く
月は暗し楠公墓畔の村

「意」 千年もの久しきを経てきた今は敵も味方もない。ただ風雲が去来して地下の忠魂を慰むるのみ。旅の一夜松風の音をきき、当年を偲んでたが、月さえ暗く楠公の墓のあるこの村は夜色につつまれている。

正風流二代目 山内 正風